

船山和泉, Ph.D.

学歴

学術博士(Ph.D.) <コミュニケーション学> 米国テキサス大学 オースチン校 大学院 コミュニケーション学部、2002年

- 博士論文: Intercultural Experiences and Practices in a Chinese-Japanese Joint Venture: A Study of Narratives and Interactions About and Beyond “Chinese” and “Japanese.”

文学修士 (M.A.) <コミュニケーション学> 米国オハイオ大学 大学院 対人コミュニケーション学部、1995年

文学士 (B.A.) 早稲田大学教育学部英語英文学科、1990年

職歴 (教育履歴)

国立熊本大学 文学部 コミュニケーション情報学科 02年4月—12年3月

准教授 (05年4月—12年3月) 専任講師 (02年4月—05年3月)

テキサス大学 オースチン校 コミュニケーション学部 ティーチング・アシスタント 99年12月—00年5月

テキサス大学 オースチン校 アジア学部 ティーチング・アシスタント 97年9月—99年5月

- 担当授業
- ・学部: 異文化間コミュニケーション、コミュニケーション理論、英語、日本語、卒業論文指導
 - ・大学院: 異文化間コミュニケーションの談話分析、会話分析、コンフリクトのナラティブ分析、修士/博士論文指導
 - ・教育実習講義: 地元高校との実習の調整なども担当

職歴 (ビジネス経験)

上海旭通 (中国、上海) 助手、通訳 99年6月—99年8月

- ・某日中合弁会社にて、博士論文のフィールドワークと併行して、アルバイトとして勤務した。日中の双方の言語を使用することができ、英語で研究活動する東アジア専門家として、コミュニケーションのスキルを使用し発展させていける業務を担当。

(株) 旭通信社 (現アサツー・ディ・ケイ) (日本、東京) マーケティング本部 90年4月—93年3月

- ・日本国内で第3の規模を持つ広告会社でマーケティング戦略の調査及び構築を担当。顧客としてVISA Japan、カルティエジャパン、ハウス食品等を担当。

役職等

熊本大学 (日本、熊本)

- 英語入試委員会副委員長 11年4月—12年3月
- 男女共同参画プロジェクト委員 11年4月—12年3月
- コミュニケーション情報学科教務委員 11年4月—12年3月
- 文学部教育実習委員会委員長 09年4月—11年3月
- 文学部地域共同研究促進委員会委員 09年4月—11年3月
- セクシャルハラスメント予防委員会相談員 08年4月—10年3月
- 教養英語教育教務委員 08年4月—09年3月
- 文学部紀要編集委員 06年10月—08年3月、03年4月—05年2月
- 文学部ファカルティ・ディベロップメント委員 03年4月—05年2月

教育研修

国立台湾師範大学国語中心 (台湾、台北) 98年6月—98年8月

国立成功大学語言中心 (台湾、台南) 95年10月—96年6月

Summer Institute for Intercultural Communication, Intercultural Communication Institute, Portland, OR,
04年7月、11年7月

International Marketing Seminar and Workshop, 日本マーケティング協会、東京、日本、92年6月—93年6月

獲得研究費と学術上の受賞

科学研究費 (文部科学省) 11年4月—13年3月 (12年3月に熊本大学退職のため中断)

- ・ ¥2,730,000 : 権威ある研究資金を二度目の獲得。
- ・ 題目 「がん患者のコミュニケーションについての異文化間コミュニケーションの視座からの研究」

研究促進費 (熊本大学) 10年9月—11年3月

- ・ ¥620,000 : 大学からの教員対象の研究費を獲得。
- ・ 題目 「がん患者の周囲の者が体験する『がんという病い』—コミュニケーションの体験についての考察—」

科学研究費 (文部科学省) 03年4月—04年3月

- ・ ¥3,300,000。
- ・ 題目 「企業内異文化間コミュニケーションの研究—文化的帰属の枠組みを超えて—」

トップ学生論文賞 International and Intercultural Division, Annual Convention of the National Communication Association

- ・ New Orleans, Louisiana, 02年11月21日—24日
- ・ Funayama, I. *Multiple meanings of "Chinese" and "Japanese" constructed in intercultural experiences: Narratives of identification in a Chinese-Japanese joint venture.*

トップ4論文賞 Language and Social Interaction Division, Annual Convention of the National Communication Association

- ・ New Orleans, Louisiana, 02年11月21日—24日
- ・ Funayama, I. *The use of back-channels between interlocutors who do not share a common language: Non-verbal facilitation in translated-mediated interactions.*

奨学金と研究費

- 海外戦争退役軍人奨学金、99年8月、00年8月
- プロフェッショナル成長賞、大学院オフィス、テキサス大学オースチン校、00年5月
- 授業料奨学金、テキサス大学オースチン校コミュニケーション学科、99年8月
- 国際教育費奨学金、テキサス大学オースチン校、99年5月
- 在外研究のためのアジア学奨学金、テキサス大学オースチン校、99年4月